

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 691-3323

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130 '16年11月27日号

市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

政府各省との折衝に取組み、大きな成果

党市会議員団の諸活動の一環として

16日、党市会議員団として東京へ行き、政府との折衝に取り組みました。直接、要求の実現を求めるといっても（これは、こくた恵二衆院議員など国会議員団が頑張っている）、制度の解釈などについて聞き取り（折衝という形です（写真左）。国の考えを、京都市でも生かそうとの趣旨です。主な項目



について紹介します。

◎ 来年度から、介護保険の「要支援1・2」の人たちへの、ヘルパー派遣とデイサービス通所が、時間が減らされたり「素人ヘルパー」に代わったり等、後退させられます。しかし本人が、「現行相当のサービス」を希望する場合、「不服申立てができる」との、この日の厚労省の回答でした。また、国が従来通りの費用負担を減らしても、「その分を京都市が補

填してもよい」との回答も得ました。

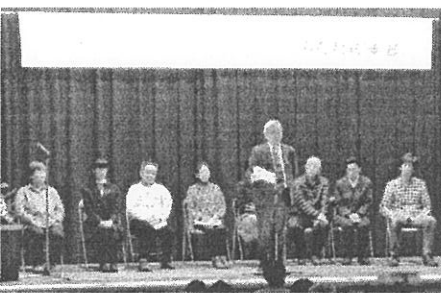
民間の事業者の皆さんが、政府の制度改善に負けず、現場から「現行相当」を貫かれることが期待されます。また京都市に「補填」させる運動が必要との課題も明らかになりました。

◎ 「民泊」について、市では、井上けんじ議員が「従業者が居なければならぬ」との答弁を得ていますが、10人政



公共事業の現場を訪問・調査

14日、労働組合の京建労さんなどと一緒、公共工事の現場を訪問。元請け企業や下請け労働者から、話をお聞きし、入札のあり方や労働者の賃金労働条件などについて調査しました。市議団から、井上議員を含む3人が参加しました（南区にある牛肉豚肉の第二市場を訪問）。



社会保障を守ろうと、集会和パレード (11/20)

◎ 市と「京セラ」とで、市美術館に同社の名前を付ける命名権契約が、議会の関与抜きに市長の判断だけで結ばれた（50年・50億円）ことが問題になってい

未満の宿泊施設は居なくても可」と決めていまず。しかし、折衝の結果、この政府の決定は単なる「通達」で、市が従わなければならない義務はないことが明らかになりました。



予算要求懇談会

11日、党市議団主催、市政報告と合わせ、予算要求懇談会を開きました。市議団として、近日、来年度予算編成にあたっての要求書を、市長宛て、提出の予定ですが、その要求書に、市民団体の皆さんの要望を採り入れ、反映させようと、開いたものです。

『乗るたび負担』でどうなる?!

敬老乗車証「家計簿」調査結果の報告集会

日時：12月3日(土)午後1時30分～
場所：ラポール京都 第1会議室(四条御前)

●主なプログラム
・敬老乗車証「家計簿」調査結果の報告
・市議会の議決の報告
・敬老乗車証の取組について
・懇話の交歓

は不要との立場。この折衝で、総務省は「新しいことに、議会で決めるべき事項として議会で決めることは可能」との回答でした。つまり、市長がどう言い張ろうと、議会在議決が必